

ヒューマンコミュニケーション特集（和文論文誌 A）論文募集

ヒューマンコミュニケーション特集編集委員会

情報通信技術（ICT）の進歩によって私たちの生活の利便性は向上する一方で、生活の多様化・複雑化に伴いプラスの側面ばかりとは限りません。技術の進化は私たちの一人一人の生活を変えるとともに、他者や生活環境との関わり方をも変えていきつつあります。このような状況のもと人が技術・社会・環境と相互に豊かに関わるためのコミュニケーションの研究を横断的に議論する必要性から、ヒューマンコミュニケーショングループ（HCG）では、HCG シンポジウムを毎年開催し会員の交流の場を提供してきました。更に HCG シンポジウムの成果、及び関連する分野の研究成果を論文として広く情報発信するため、和文・英文論文誌の A、D のいずれかで毎年特集を発行しています。今後も継続的に和文論文誌 A 及び英文論文誌 D にて交互に特集を企画していく予定です。独自の論文誌を有していないヒューマンコミュニケーショングループの会員にとって、本特集は日頃の研究成果を発表する絶好の機会です。また研究分野として深い関連性を有する基礎・境界ソサイエティ、情報・システムソサイエティの会員にとって、有益な情報提供の場となっています。本特集は日頃の研究成果を論文として広く情報発信する絶好の機会ですので、是非投稿を御検討下さい。

1. 対象分野

- ・ヒューマンコミュニケーション基礎
- ・ヒューマン情報処理
- ・メディアエクスペリエンス・バーチャル環境基礎
- ・福祉情報工学
- ・ヒューマンプローブ
- ・情報の認知と行動
- ・魅力工学
- ・コミック工学
- ・ヴァーバル・ノンヴァーバル・コミュニケーション
- ・リアルタイムコミュニケーション言語
- ・その他、ヒューマンコミュニケーションに関する全般、あるいは新領域

2. スケジュール

- ・投稿締切 2022 年 4 月 22 日（金）厳守
- ・論文発行 2023 年 3 月号

3. 投稿方法

・電子情報通信学会論文投稿システム（下記 URL）を用いて「A 基礎・境界：[特集 HA] ヒューマンコミュニケーション」へ電子投稿して下さい。

https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_j.aspx

・追加のデジタルデータを論文の査読プロセスにおける参考資料として添付したい場合は、下記に従って送付して下さい。

- ① 論文本体は完結する首尾一貫した内容であることが求められ、添付されるデジタルデータはあくまでも査読プロセスにおける参考資料として利用されます。
- ② たとえデジタルデータを添付した論文が採録されたとしても、論文誌やそれに準ずるメディアにはその論文のみが掲載され、添付されたデジタルデータは公開されません。
- ③ デジタルデータの容量上限については以下のようにさせていただきます。

- (a) 1 ファイルあたりの上限は 50MB とします.
 - (b) 1 論文あたりのファイル容量・ファイル数に上限はありませんが、音声・動画の場合は 5 分程度を上限として下さい.
- ④ 投稿論文へのデジタルデータの添付（提出）方法は以下の通りです.
- (a) デジタルデータを収録したメディア（CD/DVD あるいは USB メモリ）を事務局まで投稿締切日までに送付して下さい.
 - (b) 必ず投稿した論文のタイトルおよび著者等を分かりやすく表記し、投稿論文とメディアとが正しく対応づくようにして下さい.

4. 特集編集委員会

委員長 小森政嗣（大阪電通大）

副委員長 寺田和憲（岐阜大）

幹事 新井田統（KDDI 総研）、高嶋和毅（東北大）、安藤英由樹（大阪芸術大）、松村耕平（立命館大）、道満恵介（中京大）

委員 永井岳大（東京工大）、酒向慎司（名工大）、藤田和之（東北大）、塩野目剛亮（帝京大）、坂井田瑠衣（はこだて未来大）、川崎 真弘（筑波大）、小川 浩平（名大）、大本 義正（静岡大）、平山 高嗣（人間環境大）、川本 一彦（千葉大）

5. 付記

- ① 論文採録の場合には、掲載料をお支払い頂きます。期限までに掲載料の支払いがない場合は採録取り消しになることがございますので御留意下さい。
- ② 投稿者に非会員が含まれている場合には、この機会に入会することを勧めます。著者全員が非会員の場合、非会員掲載料が適用されます。ただし、招待論文に関してはこの限りではありません。入会の案内はこちらを御覧下さい。
(https://www.ieice.org/jpn_r/member/join.html)

6. 問い合わせ先

・小森政嗣（大阪電気通信大学）

komori@osakac.ac.jp